

海底観察断面図（春季及び夏季：測線L-5）

A. P. (m)



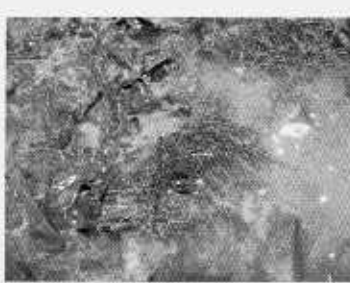
0m付近。護岸直下は転石帯であり、マガキが厚く付着する。転石やカキ殻の間に、ケフサイソガニ、イシガニなどが、多数生息する。



90m付近。泥質の干出域。ヤマトオサガニが多数生息する。



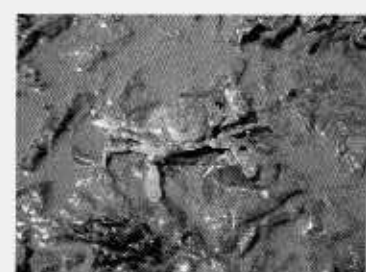
小規模なカキ礁(100m付近)



オゴノリ(紅藻類)とアオサ(緑藻類)(350m付近)
アオサは春季は被度ほぼ100%で海底を被っていた。夏季は海草藻類被度は減少している。



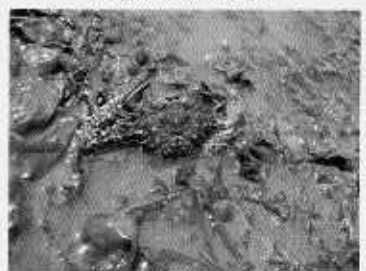
90m付近。ヤマトオサガニの群れ



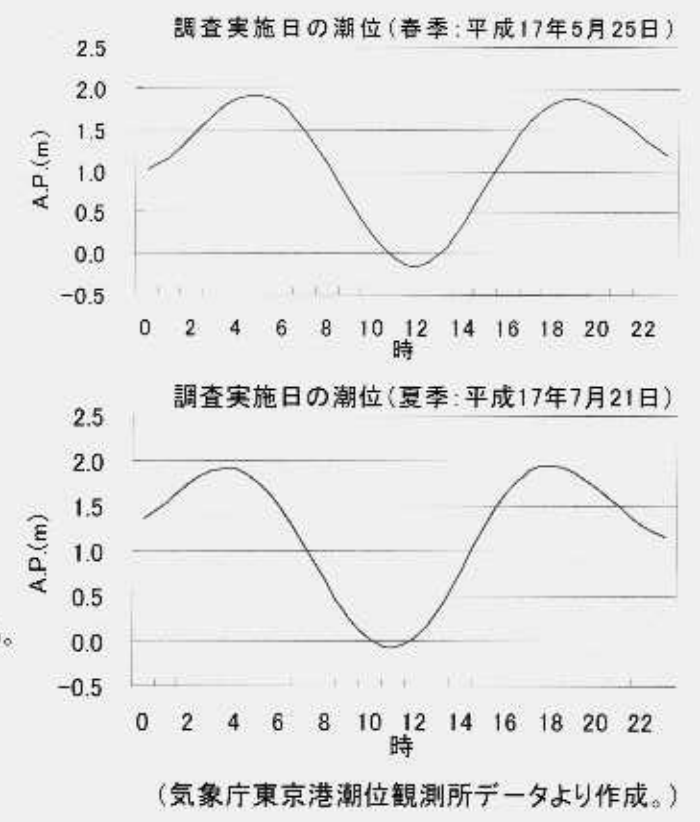
イシガニ(80m付近)



猫実川河口域70m付近の風景。



タイワンガザミ(80m付近)



※図中の水位線は、調査時間中の平均潮位を示している。

貝類凡例			海草藻類凡例	
タマキビガイ	アラムシロガイ	サルボウガイ	アオサ属	オゴノリ

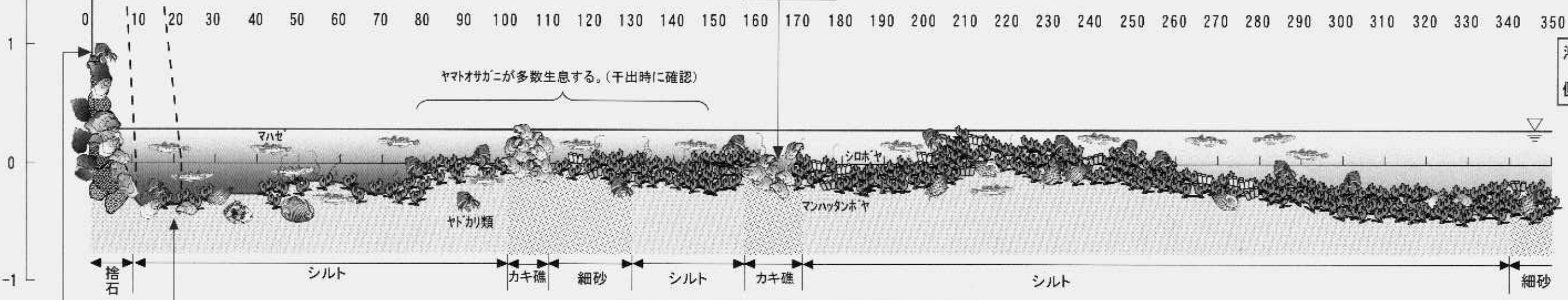
調査年月日 春季:平成17年5月25日 10:00~16:20
夏季:平成17年7月21日 08:45~13:50

塩浜三丁目

(猫実川河口前面)

離岸距離(m)

沖側



潮間帯生物等採取位置 L-5-1

潮間帯生物等採取位置 L-5-2

直径1~2cmの生息孔(アナジャコ類と推定される)が分布する